題目：中国人の社会関係認知―「Guanxi」概念を中心に

氏名：李 楊

指導教官：山岸 俊男

近年、中国への関心が高まるのにつれ、中国特有の社会関係である「Guanxi」の概念が注目されるようになってきた。Guanxiは一般的に中国特有の社会関係または社会関係ネットワークとして定義されており、また、社会関係を通した利益の交換を強調した形での定義もしばしば見られている。

Guanxiは中国文化における儒家思想の影響を強く受けている。儒家思想は相互依存性や相互関係における秩序を重視する一方、個人の能動性も十分に重みを置いており、個人の確立によって秩序ある相互関係が能動的に構築され維持できるとしている。儒家思想の影響を反映した社会ネットワークのモデルとして、自我を中心とした伸縮可能な相互依存的ネットワークである「差序格局」（費,1984）が提唱されている。また、これまで議論されてきたような個人のアイデンティティが集団に埋没されるような集団主義に対して、個人が独立したアイデンティティをもちながら構造的なネットワークを構築する、関係集団主義（Yuki, 2003; Brewer & Chen, 2007）も提唱されるようになっている。Guanxiの概念は差序格局や関係集団主義として再構築されることができる。

Guanxiはネットワークと交換関係の二つの角度から捉えることができる。ネットワークの角度からみると、Guanxiは自我を中心とした、個々の間の連結によって形成し広がっていく相互依存的なネットワークであり、そこにおける「集団」の境界線があいまいである。また、中心となる個人は自分と連結をもつ他者を介してネットワークを拡張し、関係継続と将来の関係拡張のためにネットワークにおける評判を非常に重視している。

一方、交換関係の角度からみると、Guanxiは社会的交換と経済的交換の両方の特徴を持ち合わせており、交換条件と形式においては社会的交換に近く、長期志向や互恵性原理の特徴を持っている一方、交換される資源には感情的な資源と道具的資源の両方が混在している。道具的交換と感情的交換はお互いに強化しあい、長期的で安定していると同時に新規参入者に対して排他的な交換関係を築き上げている。また、Guanxiを通して自分より地位の高い（または低い）人からの資源を入手することが可能であり、法的保障の不足に対する保障にもつながるといわれている。Guanxiの維持には積極的な投資が必要とされている。

先行研究ではGuanxiに対して、行動または信念の角度から、回答者本人の傾向性を反映する定量的な測量法を開発してきた。本研究は、先行研究に挙げられてきたGuanxiの9つの特徴（互恵性、相互依存性、拡張性、階層性、投資重視性、交換資源の混合性、道具性、評判重視性、積極性）に対して、 行動と信念の両方の角度から、中国人が認知しているGuanxiの一般的概念を反映するスケールを作成した上で、Guanxi概念の諸特徴がどのように統合されているのかを探索した。

本研究では上述の9つの特徴それぞれに対して行動と信念の候補項目を作成し、回答者に直接比較と間接比較の方法で「Guanxiを重視する人」と「Guanxiを重視しない人」を比較させた。直接比較は中国人がもつGuanxiのステレオタイプを反映し、間接比較は中国人が認知しているGuanxiの公式概念を反映すると考えることができる。また、本研究では心理的負債感の項目や、参加者自身に対してGuanxiの諸特徴が当てはまる程度も測定した。

分析には198名（男性79名、女性97名）の中国人大学生の回答を用いた。各特徴の予備項目から、直接比較と間接比較の方法において一貫してGuanxiに特有とされていて、かつ代表性のある項目を計18項目取り出し、Guanxiスケールを構成した。スケールの分析の結果、Guanxiの概念は大別すると道具性と関係性の二つの側面から認知されていることが明らかになった。さらに、Guanxiのステレオタイプ（間接比較）を考える際に、道具的な側面は関係的な側面と連動して認識されているのに対して、Guanxiの概念を意識的に考える際には（直接比較）、二つの側面は独立に捉えられていることが示唆された。

回答者自身に関しても、道具性と関係性の二つの側面から認識されていることが示された。ただし、道具的にGuanxiを実践する人はGuanxiの概念の両側面を強く認識するのに対して、関係的に実践する人ほど関係的な側面への意識が強い。さらに、Guanxiの社会的成功に対する働きを強く意識する人はGuanxiをより道具的に実践しているが、特にGuanxiを道具的な側面から定義しているわけではない結果も得られている。また、心理的負債感を回避するため交換を避ける傾向が強い人ほどGuanxiのステレオタイプを関係性の側面から捉えていない結果が得られている。

本研究ではGuanxiの一般的概念を反映するスケールを作成し、Guanxiの概念は道具性と関係性の二つの側面から捉えられていることを示した。今後はGuanxiスケールの妥当性を検討すると共に、先行研究とにおける構成概念との共通性を検討する必要がある。その上、Guanxiにおいての行動と信念がいかに社会において共有され、Guanxiの交換システムがいかに自己維持し、再生産されるかというプロセスについて、さらなる検討が必要とされている。